

区分	科目名	担当教員	実務経験	学年	時数	時期	種別
実習	手仕上げ工作 (1.基本工具の使い方) (2.サーキット・テストの作成)	浅井 朋晃 矢野 史門	メーカー系 自動車販売会社 自動車整備士	1	24.5	前期	必修
授業の概要	1. 基本的な工具の使用方法を学ぶ。 2. サーキット・テスト製作を通して電子工作の技術、サーキット・テストの使用法を学ぶ。						
授業の進め方	1. ドライバーやメガネレンチなどを使用してボルトやビスの締付などを行う。 2. サーキット・テストの制作内容説明後、実作業を行う。						
到達目標	1. 工具を使用する上での、体勢や力の入れ方、工具の名称を理解する。 2. 電子工作の技術習得、サーキット・テストの使用法を理解し、正しく使えるようになる。						
講義内容							
時間	項目	目標					
1 5 24.5	1. 基本工具の使い方 ①手持工具の管理	1. 金属加工 ①各工具を使用し、自身の手持工具へ氏名をいれる。 各工具の名称についても理解する。					
	②安全靴の管理	②自身の安全靴に学籍番号をいれる。 安全靴を使用する意味についても理解する。					
1 5 24.5	③基本工具、実作業	③教材を使用し、その中で、工具を使用する上での 注意点や、体勢、力の入れ方などを理解する。					
	2. サーキット・テスト作成 ①はんだ付けの方法	2. サーキット・テスト作り ①はんだ付けに関する知識を得る。					
	②サーキット・テスト製作	②学んだはんだ付けに関する知識を生かして、サーキット・テストの 製作を行う。					
1 5 24.5	③サーキット・テストを 使ったの各種測定	③作成したサーキット・テストを使い各種測定を行って、作動確認と 正しい測定方法を学ぶ。					
	成績評価方法	実習授業終了後に実技試験を実施する。試験取得点・実習レポート等の提出課題・実習態度・出席状況にて評価し各定期試験の成績とする。					
定期試験	前期中間試験						
教科書・配布物	全国自動車大学校・整備専門学校協会 教科書「自動車整備工具・機器」 関係資料(プリント)、サーキット・テスト制作キット						
アドバイス	1. 卒業まで使用する、自身の工具へ氏名をいれる作業など、今後の実習へ向けた 大事な実習となります。工具の基本的な使用方法などを身に付けるようにしてください。 2. 電子工作は焦らず落ち着いて行うことで上手くなります。また、サーキットテストは整備 士になる以上、必ず必要となります。使用法をしっかりと習得しましょう。						